



シニアティーチャーで育つ、伝える力・聞く力・つながる力

届け、学びのタスキ——“教える・教わる”で見た成長のかたち

第7号で御紹介した、市沼ならではの教育活動「シニアティーチャー」を特集します。

6月、高校生と中等部生が机を並べる時間。教える立場と教わる立場——高校生は教えることで新たな気づきを得て、中等部生は聞くことで自信や興味を広げながら、「わかってほしい」「聞いてみたい」「つながりたい」という前向きな気持ちが溢れました。一人ひとりが抱いたリアルな感想を通して、その時間のあたたかさを共有します。



7月22日にシェアされた投稿
作成者:ICHINUMA_HS_HS

第1部：高校生 vs 中等部生——同じ活動、異なるまなざし

🔍 教えることの難しさ × わかりやすいと感じる学び

- 頭の中ではなんとなく理解していても、それを言葉にして説明するのが難しかった。(Tさん)
- 教科書の応用部分を教えてと言われて答えに困った。事前に用意できると安心。(Sさん)
- どこをどう勉強するか分からないと言われて、プランを複数持つ必要性を感じた。(Eさん)

高

中

- 解き方を優しく教えてもらったり、勉強法なども教えてもらったりして、とてもわかりやすかったです。(Wさん)
- 図や公式を使って丁寧に教えてくれてすごく理解しやすかった。(Iさん)
- なぜそうなるかを一緒に考えてくれて、しっかり理解できた。(Mさん)
- iPadを使って実例を見せてくれて、説明がとても分かりやすかったです。(Sさん)

📖 教えることで深まる高校生の理解 × 中等部生の学びの効率化と自信

- 中学時代に疑問だった問題が今なら解けて嬉しかった。(Kさん)
- 教えることで自分の勉強方法を見直すきっかけになった。(Tさん)
- 高校生になるとフィーリングで解いていた英語の基礎に気づけた。(Oさん)

高

中

- 効率よく勉強できる方法を教えてくれて、応募して良かったと思った。(Kさん)
- 褒めてくれて自信が持てた。期末テストへの不安が減った。(Iさん)
- 優しく、覚えるコツや優先順位のつけ方も教えてもらえた。(Tさん)

💖 交流の楽しさ × 関わる喜びと安心感

- 教えるだけでなく、中等部生との交流がとても楽しかった。(Sさん)
- 積極的に質問してくれると、時間が短く感じるくらい楽しい。(Mさん)
- 自己紹介を通して仲良くなれて、教えることへの緊張も和らいだ。(Tさん)

高

中

- フレンドリーに話しかけてくれたから、気軽に質問できて楽しかった。(Mさん)
- 勉強だけじゃなくて、高校生活のことも色々話してくれて楽しかった。(Fさん)
- 高校生がすごく優しく緊張しないで学べた。(Wさん)

🚀 意欲の芽生え × 活動への期待

- 2人の中等部生を同時に教えるのは大変な部分も多く…次も参加して教えるのを上手になりたいと思いました。(Tさん)
- 楽しかったです。あまりちゃんとしたことを教えられた気はしないけど、またやりたい。(Iさん)
- 確認テストみたいなことをして自信をつけてあげられたかなと思います。(Mさん)
- 次があれば高校生もどういった勉強をさせようかのプランを複数作っておきたいです。(Eさん)

高

中

- わかりやすい上、とても親切に、丁寧に教えてくださりました。もしも次があるなら参加したいです。(Sさん)
- 覚えるコツとかどれを優先的に覚えればいかなどを教えてくれてとても勉強になった。なるべく回数増やしてほしいと思いました。(Eさん)
- 2回受けて両方ともものすごく話やすくて、楽しかったです。もう一度受けてみたいと思いました。(Wさん)
- 何回聞いても優しく教えてくれて、勉強以外にも部活や生活面も話してくれてとても楽しかったです。(Fさん)

伝える工夫

高

- 自分が得意な教科の英語でも、忘れていた部分もあって中学生に教えるのは難しかった。頭の中であんまり理解していても、それを言語化してわかりやすく説明することの大変さを知った。(Tさん)
- 初めて教える側に回りましたが、声に出して教えるというのは難しかったです。(Sさん)
- 中学1年は逆に教えるのが難しかった。(Mさん)
- 社会を教えました。まだ中学生になったばかりで効率的な勉強法が分かっていなかったため、まずそこから教えました。その後内容理解という流れに進めたのですが、計画的に順序良く教えることが効率につながると実感しました。(Kさん)

発見・気づき

高

- 今回教えていて内容を意外と覚えていないところがあったと気づいた。教えると自分の勉強になるからいい経験にもなった。(Uさん)
- 中学生の内容を学び直すきっかけになった。自分の勉強方法を見直すことができた。(Eさん)
- 初めてシニアをやって、中学生の復習ができてよかった。楽しかったです。(Aさん)
- 自分の身についていないところに気づきました。教えることが楽しいと感じました。(Aさん)

やりがい

高

- 自分の知識を持って相手に教える作業はとても楽しくて、相手がわかってくれた時が一番やりがいを感ずることができました。(Sさん)
- 教えることがこんなに楽しいと思わなかった。理解してくれた時が一番嬉しかった。(Hさん)
- わかってくれていい反応してくれた時にすごく嬉しかったからまた教えたいと思った。(Gさん)
- わかるか不安だったけど、一緒にひらめきながらできてとても楽しかったです！またやりたいです！(Tさん)

わかる喜び

中

- 高校生の説明はわかりやすく、わからなかったところも解けるようになったので良かったです。(Kさん)
- 高校生に教えてもらって、文字式のやり方や求め方がわかるようになりました。数学や社会が少しわかるようになって、教えてくださった高校生に感謝しています。(Yさん)
- 数学でわからなかった問題を図や公式を説明に使いながら教えてもらったので、すごくわかりやすく理解しやすかったです。(Hさん)

話せる安心

中

- 先輩が積極的にわからない問題があるかを聞いてくれました。そのおかげで気軽に質問できましたし、わからない問題が減りました。(Mさん)
- 高校生が優しく教えてくれて、楽しかった。(Mさん)
- フレンドリーに話しかけてくれたので、めっちゃ楽しかったです。(Nさん)
- 優しく教えてくれて、とても楽しかったです。(Yさん)

学ぶ楽しさ

中

- 高校生が勉強のコツなどを教えてくれたおかげでもっと効率よく勉強できるようになって、シニアティーチャーに応募してよかったなと思いました！(Tさん)
- 勉強がしやすくて、わからないところをすぐに聞けるのが良かった。高校生と関わって嬉しかった。(Hさん)
- 期末テストに向けての勉強がちゃんとできましたと思います。(Aさん)
- 高校生が優しく教えてくれるから勉強も楽しく思えました。単語等をいつもより沢山覚えることができました。(Iさん)

“できた”の先にある出会い——学びとは、ただ知識を得るだけではなく、「人とつながること」「わからないを共有すること」でもあります。今回のシニアティーチャーで、高校生は“伝える難しさ”を通じて自らを振り返り、中等部生は“聞くことで広がる世界”を体験しました。両者の心に残った言葉は「楽しかった」「またやりたい」——その言葉に、きっとこの活動の価値がすべて詰まっていたのだと思います。次回、また新しい出会いが待っていることを楽しみにしています。

頑張ってます、部活動

中等部生、中体連を席卷!!!

バレーボール(女子)：沼津市大会優勝・県大会出場
 バスケットボール(女子)：沼津市大会優勝・県大会出場
 陸上：県大会出場(男子400m、女子砲丸投、女子四種競技、低学年女子4×100mR)
 柔道：県大会出場(男子団体、男子個人60kg級、90kg超級)



(結果の紹介と写真は一部のみです。御了承くださいm(_ _)m)

高校野球部、4回戦進出!!!

1回戦：市立沼津 10-3 藤枝西
 2回戦：市立沼津 9-8 三島南
 3回戦：市立沼津 4-3 浜名
 4回戦：市立沼津 0-8 聖隷クリストファー
 粘り強いプレーでベスト16入りを果たしました。

